

「蓮池薫氏の講演を拝聴して」

いつも人権機関有田川の活動をご理解いただき、皆さまのご参加ありがとうございます。2月10日(土)の人権講演会では、講師に蓮池薫氏をお迎えし、「夢と絆」と題して講演いただきました。

講演会の参加者であった中島幸子さん(二川)から、感想をいただきましたので掲載します。

蓮池薫氏の講演を拝聴して

日本海側では記録的な大雪に見舞われた地域も多い中、遠路新潟県よりの御来訪に感謝いたします。



講演中の蓮池氏



会場であった清水文化センターには大勢の人が訪れました

講演をお聞きして、氏の心中を量る時、ご本人の稀有で残酷な経験をより多くの人々に早く知ってもらい、一刻の猶予も許されない事件の解決をと、はやる気持ちを感じずにはいられませんでした。

1970年代から80年代にかけて、拉致事件という耳を疑う出来事が日本で起きていました。現実のこととは思えないことが現代もまだ続いているのです。氏の著書も拝読しております。また、その他の関連し

たものも多数読んでおりますが、あくまで書物上での知識であります。

今回、直接ご本人にお目にかかった、ご本人の苦難の日々、特に拉致された時の状況をお聞きしたときは、あまりの臨場感で身が震える思いでした。平穏な日々を突然に他者により打ち破られ、蛮行の限りの内に見知らぬ国に連れ去られ、長い24年の日々を過された氏の強靱さは、稀なものと思えません。

幸いなことといえば、奥さまと再会され、家族をお持ちになったことでしょうか、その家族を守るという立場に立たれたご苦勞も、想像に難しくありません。

ご帰国という幸いも、氏の持てる力だと思えます。いまだ連れ去られ苦難を強いられる方々を思う時、解決まで一刻の猶予もありません。どのような方策があるのか私には分かりませんが、一国民としては、風化をさせないこと以外は術を知りません。

今回のご講演を拝聴し、氏の切実な思いを受け止めました。折しも平和の祭典が催されている中、不条理な現実の解決を心から願うところです。一刻も早い全面解決に向け、心一つにと思えます。

中島 幸子

講演会参加者の声

拉致被害者が一日も早く解放されますように！人権被害に目をそむけることなく現状を理解することが大切です。いじめ・虐待はもつての外。

70代 男性

今まで遠いと感じていた問題が少し身近に感じられるようになった。今後、問題解決のために自分でも力になれることがあれば、積極的に関わっていききたい。

30代 女性

24年間の人生の権利を奪われた気持ちは、本人でないとわからない。今日、蓮池氏の生の講演を聞いて、日本は自由な国であると改めて感じた。人権を無視した行動があることが悲しい。

60代 女性

拉致された方が早く帰られるように祈ることしかできませんが、何か道が開けることをせつに願います。本当の生の声が聞けて改めて関心を持つことができました。

50代 男性

■人権に関する問い合わせ

有田町教育委員会 社会教育課

TEL 522-2111
FAX 322-4827